

本年は播種期が長引いたことから圃場ごと生育の進みに差があり、ハダニ等による早期落葉も一部ありますが、10月7日頃から収穫期を迎えるとみられます。

「汚損粒」や「しわ粒」の発生防止のため、「えんれいのそら」は子実水分22%以下になったほ場から順次刈取りを始め、計画的な収穫作業に努めて下さい。

1. 収穫作業

▷収穫開始時期の目安（落葉後5日程度で収穫時期）

◎「えんれいのそら」子実水分が22%以下で刈り始め→莢の90%以上が褐色になった頃



「エンレイ（えんれいのそら）」の収穫時期の目安

◎「シュウレイ」「オオツル」子実水分20%以下で刈取りを開始（殆どの莢が褐色）

▷刈取りのポイント

- ・汚損粒の発生防止のため、事前に青立ち株や大型の雑草を抜き取る。
- ・コンバイン作業は、茎が乾いた時間帯（10時~16時頃）に行う。
- ・刈取り高さは、土をかき込まないように地際から10cm程度とする。
- ・コンバインの作業速度は0.5m/秒（時速1.8km）程度で行う。



2. 乾燥・調製

▷乾燥作業

- ・急激な乾燥は、しわ粒や皮切れ粒の原因となるので、張り込み後、速やかに通風乾燥するとともに、加温する場合は「**気温+5℃以内の送風温度**」で乾燥する。（毎時乾減率は0.3%以下とする。）
- ・仕上げ水分は**14%**とする。



皮切れした大豆

3. 次年度の種子について

品種特性の退化や種子伝染病害の発生を抑え、品種本来の形質を保持し、安定的に高品質な大豆生産を行うため、**毎年種子更新**を行いましょう。

収穫後、速やかにほ場内の大豆残さをすき込みましょう！